

今年度開催予定のイベントを抜粋して掲載しています。下記以外にも各種イベントを随時開催。お問合せは、高知県移住促進・人材確保センターまで。

高知の暮らしを知る

お問い合わせは下記「高知家で暮らす」サイトまで

考えるな!鼓動で感じろ!
土佐のよさこいミーティング
よさこいファン、集まれー!“よさこい”で幅広いネットワークを持つゲストを交え、よさこい好きがつながる交流会を開催します。お気軽にご参加を。

東京 11月23日(土) 14:00~17:00
場所: LIFULL Table

大阪 11月24日(日) 13:00~16:00
場所: 大阪梅田アプローズタワー13階 会議室8

高知暮らしフェア2019冬

高知県の最大の魅力は、『思いやりのあるヒト』。高知から100名を超えるスタッフが参加するUターン・Iターン相談会です。参加いただければ、あなたも高知に魅了されること間違い無し。

大阪 11月30日(土) 11:00~17:00
場所: アクセス梅田フォーラム

東京 12月1日(日) 11:00~17:00
場所: 東京交通会館12階



同時開催

高知らしいものが沢山! 高知県特産品直売会

豊かな自然が育んだおいしいものや、高知ならではの商品を取り揃えております! ぜひお立ち寄りください。



11:30~17:00

大阪 場所: OS広場

東京 場所: 東京交通会館1階

いなかの魅力発見交流会

1日2回開催①13:40~ ②15:10~(予定) 詳細はP.6

就職・転職の情報収集

お問い合わせは下記「高知求人ネット」サイトまで

高知就職・転職フェア2019冬 (受付15:30迄)

高知県内企業約50社が集結する最大規模のU・Iターン就職相談会。幅広い業種・職種の中から、自分に最適な求人・企業を見つける絶好のチャンスです。

東京 12月7日(土) 12:00~16:00
場所: ベルサール神田

大阪 12月8日(日) 12:00~16:00
場所: 難波御堂筋ホール7

Uターン出張個別相談会

予約制の個別面談(お一人50分以内)です。当センター就職相談窓口(088-855-7748)までお気軽にお問合せください。

大阪 1月25日(土) 10:00~17:00
場所: 淀屋橋付近

名古屋 1月25日(土) 10:00~17:00
場所: 名古屋駅付近

他にももっと!

イベント情報は
こちら



syoukeijinza
<https://kochi-jinzai.jp/>



高知暮らしのポータルサイト

高知家で暮らす。

kouchi.ijuconcerge/
tosa_turn/
<https://kochi-iju.jp/>



高知県×LINE 友達募集中!

LINE公式アカウント「関東高知県応援団」では、首都圏での高知県関連イベントやお得な情報を配信中。アナタの登録、お待ちしております!



お問い合わせ/高知県東京事務所
TEL.03-3501-5541

高知で暮らし始めた人のインタビュー続々アップしています

高知に住み始めるきっかけは人それぞれ。その経緯や、高知暮らしの良いところ・苦労したところ、普段の生活の様子など、いろいろお聞きしています。「高知家で暮らす。」サイトに読みにきてね!



暮らしと仕事の相談窓口

KOCHI 高知

高知県移住促進・人材確保センター
平日(9:00~18:30)

●移住 TEL.088-823-9336
iju@iju-jinzai.kochi.jp

●就職 TEL.088-855-7748
jinzai@iju-jinzai.kochi.jp

ハローワークジョブセンターはりまや
毎週水曜(9:00~16:00)
TEL.088-882-0845

TOKYO 東京

●移住 ふるさと回帰支援センター
火曜~日曜(10:00~18:00)
TEL.03-6273-4626

高知県アンテナショップ「まるごと高知」B1階
月・祝のみ(11:00~19:30)
TEL.03-3561-8417

●就職 高知県東京事務所内
平日(9:30~18:15)
TEL.03-6206-1707

OSAKA 大阪

●移住 高知県大阪事務所内
平日(9:00~17:00)
TEL.090-6887-9774



特集

ワイワイにぎやか 高知の買いもの。



特集

高知の
買いもの



野菜の店
日比さん

街 路市

ワイワイにぎやか 高知の買いもの。

買い物をするとき、相手と何か会話を楽しもうとする気質が高知人にはあります。

曜日ごとに開かれる街路市。地元の人に愛されるスーパーマーケット。山間部を巡る移動販売。「弘化台(こうかだい)」の愛称で呼ばれる高知市卸売市場。賑やかなやりとりがくり広げられる、高知ならではの買いものシーンを追いかけてきました。



とさターン!!



顔が見える。
だからまた、
買いたくなる。

路面電車がゴトゴト走る高知城下のオフィス街。県庁や商業ビルが建ち並ぶ高知市のど真ん中で毎週木曜日に開かれている街路市が、その名の通り木曜日です。

市が立つのは日の出頃。約200mほどの路上に70あまりの店が軒を連ね、手づくりの商品が並びます。その種類は、穫れたてツヤツヤの野菜や果物から、弁当、パン、まんじゅうまで多種多様。多くは作り手ご本人が売り手もつとめています。この道数十年のベテランが多い中、最近若い店主も増えてきました。



木曜市に3年ほど前からパン屋を出店している原田さんご夫婦もそんなお二人。「作っているのは、自分たちがおいしいと思うもの」という原田さんのパンを買い求めるのは、顔馴染みになった常連さんたちです。「今日はどれにしよう?」「このスコーンが一番」。ワイワイ言いながら売り買いするのは高知ならではの。「高知の人は『ありがとうございます』なんて敬語は使わない。土佐弁で『ありがとう、ありがとう』って。それが楽しいし、うれしいんですよ」と原田さんは話します。



パンの店
原田さん夫妻

木曜日と日曜日で国産小麦を使った手づくりパンを販売。種子島や徳島県を経て、7年前に高知県に移り住みました。

300年の歴史。 今に受け継ぐ人と 人の繋がり。

木曜市は、お昼ご飯や夕飯の食材を買い求めるお客さんの姿がよく見られます。閉店は日没1時間前ですが、人気商品は昼に売り切れることも。母親から店を継いで36年になる小田さんの店も、ご本人が大好きだという小豆をたっぷり入れた赤飯やお餅が大人気。市のある日は前夜から小豆を仕込み、当日は朝3時に起きて手づくりします。「いつまでできるか…でもお客さんが待ちゆうき、もっと頑張らんと」と話す姿は、まだまだ

現役そのもの。小田さんの真心が常連さんの心をつかんでいるようです。

高知市には、木曜市をはじめ街路市で日本一の規模を誇る日曜市、こぢんまりとした火曜市や金曜市といった街路市があり、どの市も収穫したての野菜や果物、手づくりの加工品などが販売され賑わっています。



餅の店
川村さん

そもそも高知市で街路市が始まったのは、江戸時代、元禄3(1690)年のこと。その後、開かれる場所や日付は移り変わり、明治時代に入り曜日ごとの市になりました。地元のおいしいものが並ぶ朝市は全国各地で開催されていますが、曜日ごと、それも午後まで市が開かれているのは高知だけかも。売り手と買い手が直接繋がり、丸々1日賑わう場。それが高知の街路市なのです。



ジャコの店
吉本さん

とさターン!! 2



レジ担当
門脇さん

うれしい出会い。地元食材から健康志向の逸品まで。

「私たちの役目は、生産者とお客様を繋げること。地元にはしかないもの、地元でしかできないことを充実させたい」と話すのは、地域密着プロジェクト担当の村田さん。陳列棚には、地ビールやソーセージなど多彩な地元産の商品が並びます。

ご当地スーパー

それだけでなく、地元の枠を超えたこだわりの商品も豊富。国産素材で作られた体に優しいものは「NATURAL」、高知県内で作られたものは「LOCAL」と札が貼られ、選択肢が広がります。地元の人で賑わうバリューですが、週末ともなると遠方からわざわざ訪れる人も多いそう。村田さんは「ただ買い物をするだけの場ではなく、来て楽しめる、



スーパーの
ファン
阿部さん

週いちで買い物に通う、子育て世代。「地元の生鮮品からこだわり自然派商品まで、品ぞろえが面白くて楽しいです」



土佐山田にしかないスーパーでありたい」と話します。確かにここなら、いつものあの農家さんの野菜が買える。そして、ここなら面白い新商品があるかもしれない。買い物好奇心を刺激してくれる、ワクワクするスーパーです。

高知には、特色のあるスーパーマーケットがたくさんあります。今回はその中のひとつ『バリュー』取材しました。

見て楽しい、買って楽しい。会話しながら買い物を。

「こんなん仕入れれん?」「あれおいしかったわ〜」お客さんからレジ担当の門脇さんにそんな声がかかるのはしょっちゅうのこと。ここは香美市土佐山田町にある地域密着型のスーパー、バリュー。平日の昼間から多くの人を訪れ、明るく広々とした店内は常に活気があふれています。

売り場を歩くと手書きPOPの数々が目につきます。「商品の特徴がすぐ分かるように、自分たちの体験談を書いています」という通り、店員さんが実際に食べた感想やおすすめの調理法が紹介され、商品の魅力がダイレクトに伝わります。POPには「初めての商品はもちろん、普段見慣れているものでも、もう一度じっくり見て欲しい」という思いが込められており、なかには顔写真を添えたものも。まるで店員さんと話しながら買い物をしている気分になります。さらに生産者直売の野菜コーナーには農家さんお一人おひとりを紹介する手づくりポスターが貼られ、「生産者の顔が見える買い物」が楽しめます。



移動販売

山の中の小さなサロン。



メロディを聞いて、待ちかねたように集まってくるお客さん。



月曜から金曜の午後、決まった時間になると、安芸市内の山間部にメロディを流しながら現れる背の高い軽トラ。

濱田智子さんの移動販売車です。魚や肉、惣菜、パンなどの食品からトイレトペーパーまで、扱う品はさまざま。夫の寛章さんの的確なハンドルさばきで、商品満載の車がくねくねの山道を走ります。

店のテントが開くと、「先週見なかったけど、どうした?」「梨の季節やねえ」と、おしゃべりしながらお客さんが商品棚を囲みます。さながら小さなサロンのよう。

高知県の山間部や海辺の集落では、こうした移動販売が時折見られます。お店が自宅のそばに来てくれる、しかも近所の人とおしゃべりも楽しめる、魅力的な買い物の機会です。



おやつや夕飯のおかずなど、買いたいものがコンパクトに揃います。「スーパーは広すぎてくたびれるから助かる」という声も。



店主
濱田さん



親子ほど年の離れたお客さんから「トモちゃん」と慕われる、店主の濱田さん。東京から地域おこし協力隊として高知県に住民開始して以来、地域を支える仕事に奔走しています。

お互いの良心を信頼した 良心市

路肩に小さな棚を置いて、野菜や果物を売る無人の「良心市」。写真のとおり、手づくりの素朴な店構えのものが多く、シーズンごとのかんきつ類(特に文旦!)やイモ、カボチャなどのほか、最近では手づくり雑貨を置いている店も。相場よりも少し安い価格のものが多く、高知県では現在もよく見かけます。良心市がいつ始まったかはわかっていませんが、戦前は四国八十八箇所遍路道沿いによく見られ、みかんや餅、貝殻、ワラジなども売られていたという記録があります。



オーテピア高知図書館で資料管理を担当する徳平晶さん。良心市にまつわる資料をたくさん紹介してくれました。



地元民の台所 高知市 卸売市場

地元の人が「弘化台」の通称で愛されている高知市卸売市場。鮮魚、野菜、果物など多くの生鮮食料品が全国から集まってくる食品流通の中心です。朝5時30分からせりが始まり、せり人の声や指の動きで品物の値段が決められていきます。一般のお客さんは午前8時から車で入場可能。市場の中の専門店や関連店舗で自由に買い物ができます。年末になると、年越し準備のために訪れた人で市場中が埋まり、大変な賑わいです。

弘化台で働く人



資格のない人はせり場に入れません。資格の有無はかぶっている帽子で判断されます。



大きなマグロやカツオを目の前で解体し、一般客にも買いやすい柵状に小分け。市場で繰り広げられる職人技です。

毎月第1土曜

市場開放日

普段、関係者以外は入れないせり場。市場開放日ならせり場の独特な雰囲気や、大きな鮮魚を解体していく熟練の手際を間近で見られます。根菜詰め放題、季節の果物試食など、この日だけのイベントも満載。自分好みにカスタマイズできる海鮮丼や、干物を炭火であぶって食べる七輪食べ放題など新鮮グルメが楽しめます。家族みんなで早起きしてGO!

弘化台で働くということ

昭和42年から続く青果仲卸「高橋勢子商店」の店主、秋山高敏さん・浩子さん夫妻。2人の子どもを育てながら店を切り盛りしています。早朝4時に出勤し、5時に開店。せりで商品を仕入れ、配達・発送などをこなして正午に終業です。「市場は陽気で情に厚い職場」と浩子さんは言います。せり人もお客さんもみんなが顔見知り。「子どもにおやつをくれる人もいて、市場そのものが大きい家族みたいな雰囲気です」。市場内には、社員不足・後継者不足に悩む業者が多くあります。高橋勢子商店もそのひとつ。「即戦力でなくていい。慌てず、ゆっくり、長く一緒に働いてくれる仲間を探しています」。



「市場の人に見守られて、市場で育った」という子どもたちと一緒に。

高橋勢子商店のお仕事情報は
こちらから



原則第1土曜、午前5時から開催予定
問合せ：高知市市場課 TEL.088-883-1171

おいしいもの大好き 浅野さんの高知暮らし

KOCHI LOVE ♥

北海道生まれ、東京でバリバリ仕事をしていた浅野さんが、結婚を機に高知へ。以来、高知の食のうまさ引き込まれ、今では地域の食を都心に売り込むビジネスを展開中!

Q.1 “高知の食(食材、料理)”の魅力はどんなところですか?

日常面では、野菜、果物、肉、魚、水、塩、米...なんでも地元のもので美味しいところ。文化面では、山地が多い地形でも食材を保存させて運んだり、季節の柑橘を工夫しながら活用したりといった独特の食文化が面白いと思います。あとはお酒を楽しくたくさん飲むところも好きです。



Q.2 高知に暮らす前と後で、食の好みに変化はありましたか?

大いにありますね。高知に来る前は、食事への関心はあまり高くないで、どこのお寿司を食べた、とか、高いお店に行った、とか、ブランドの方に興味があったような気がします。高知に来てからは、身の回りにある旬の食材を楽しむことが豊かなことだと感じるようになりました。

Q.4 浅野さんの好きな食べ物は?

お肉とチーズとビール(笑)!



Q.3 高知の長所と短所って、ありますか?

長所 人も考え方も許容範囲が広いところ。よさこいの踊りに象徴されていると思いますが、ある程度共通項があればあとはご自由に!みたいな、オープンで許容範囲が広いところが時代の先を行っているなど感じます。

短所 突き詰めないところ、長所の裏返しですね(笑)。もうちょっとこだわればブレイクスルーするのに、その手前でみんなもう飽きている、というところももったいないなど感じることもあります。面白いですが(笑)。

「いなかの魅力発見交流会」開催!

浅野さんがゲスト参加!

高知には美味しい食材がいっぱいあります。とっておきの高知の「食」を味わいながら、ローカル食材の可能性と関わり方について聞いてみませんか?

ゲスト 浅野聡子さん(株式会社StoryCrew代表取締役)
小澤祥子さん(「土佐力舎」カフェ店長)

同日開催 ●高知県特産品直売会 (11:30~17:00) ●高知暮らしフェア (11:00~17:00)

大阪 11.30(土)

会場:アクセス梅田フォーラム (大阪富国生命ビル)

東京 12.1(日)

会場:カトレアサロンB (東京交通会館)

時間(両会場とも)1日2回開催 ①13:40~ ②15:10~(予定)

詳細は、高知家で暮らす 検索

